

クイック・レファレンス・ガイド

用語	<ul style="list-style-type: none"> > トラベル量：アイ・ツー・アイ測定によるショックの圧縮総量。 > サグ：通常の乗車ポジションで自転車に乗った際のフォークの圧縮量。誰かに自転車を持ち上げてもらった状態で測定するのが理想的です。 > 圧縮ダンピング：ショックを圧縮しようとした際に感じるオイル・ダンピングの抵抗。 > リバウンド・ダンピング：ショックが圧縮後に伸張する際のレートを制御するオイル・ダンピングの抵抗。 > プレロード：スプリングにかかる初期の力の量。多すぎるとトラベル量が減少し、少なすぎるとショックに負担がかかります。 > スプリングレート：スプリングを1インチ圧縮するのに必要な力。 > FLOAT: Fox ロードオプティマムエアテックノロジー。エアショックの調整機能と軽さを持つコイルスプリングの走行機能を実現します。 > ProPedal: 大小の衝撃に対する敏感なコントロールと同時に、効率の高いペダリングを提供する技術。 		
連絡先	<p>FOX Racing Shox 130 Hangar Way Watsonville, CA 95076 USA 電話：1.831.274.6500 北米：1.800.FOX.SHOX (369.7469) Fax：1.831.768.9312 Eメール：service@foxracingshox.com ウェブサイト：www.foxracingshox.com 営業時間：月～金 大平洋標準時間午前8時～午後5時</p>	<p>支払いおよび お届け方法</p>	<p>Visa、Master カード、小切手をご利用頂けます。</p> <p>FOX Racing Shox は米国内のお客様に対し UPS Ground サービスで出荷しています。</p>
免責事項	<p>FOX Racing Shox は、ショックまたは自転車の走行、移送およびその他の使用によりお客様またはお客様以外の第三者に発生した損害の責任を負うものではありません。お買上げのショックが故障または正常に作動しない場合でも、FOX Racing Shox は、本マニュアルの保証事項の規定に従ったショックの修理または交換を超える一切の責任を負わないものとします。</p>	<p>保証に関する 特別免責事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> > 通常の使用による摩耗および損傷、または通常のメンテナンスによって交換された部品。 > 通常の使用により摩耗し、損傷を受ける部品、および日常的なメンテナンスを要する部品。 > ブッシング > サスペンション液
保証書	<p>お手持ちのショックの工場保証期間は、自転車またはショックをお買い上げになった日から1年間（EC加盟国のお客様は2年間）とさせていただきます。保証サービスを受ける場合には、購入の際のオリジナルのレシートが必要となります。保証に関しては、FOX Racing Shox がすべての決定権を有し、故障の原因となった材料および技術料のみをカバーします。保証期間および関連法については、州または国で異なる場合があります。</p> <p>通常の使用により摩耗および損傷を起こす部品、コンポーネントおよびアセンブリは、本保証の対象外となりますが、シールについては例外的に、購入日から90日間が保証対象となります。最終的な保証の決定権は、FOX Racing Shox が保持するものとします。</p> <p>FLOAT RP3、FLOAT R、FLOATの保証事項：高い走行機能を維持し、永く安全にご利用いただき、かつ保証を受けることが出来るよう、かならず定期的なメンテナンスを行ってください。</p> <p>DHX および DHX Airの保証事項：DHX および DHX Air ショックが正常に機能するためには、最低 75psi のプースト・バルブ（リザーブタンク）内の空気圧が必要です。プースト・バルブ内の空気圧が 75psi 以下の状態でショックを使用すると乳化作用が起きますが、これは Fox Racing Shox の保証サービスの対象外となります。</p>	<p>保証に関する 一般免責事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> > 純正 FOX Racing Shox 以外の部品またはアクセサリーの取り付け。 > 無理な引張り、放置、乱暴な取り扱いや誤用。 > 事故または衝突による破損。 > オリジナル・パーツの改造。 > 適切なメンテナンスを怠った場合。 > 配送時の破損、紛失（全額保障の輸送保険への加入をお勧めします）。 > 不適切なケーブル設置、岩石、衝突、あるいは不適切な取り付けにより発生した外部または内部の破損。 > オイル交換または FOX Racing Shox または認定サービスセンター以外で行なわれたサービス。 > 別段の指定がない場合において、過度のスプリングプレロード（最大2回転）によって発生したコイルの巻き付き。
保証説明	<p>> FOX Racing Shox は、場合により所要時間は異なりますが、保証対象の作業を 48 時間以内に完了します。</p> <p>> 番号 800.FOX.SHOX にお電話の上、FOX Racing Shox に RA（返品確認）番号と返送先住所をお尋ねください。米国外のお客様は、担当地域の国際サービスセンターにご連絡ください。</p> <p>> パッケージの外側に RA 番号と返送先を明記の上、対象製品を、送料前払で FOX Racing Shox あるいはお近くの国際サービスセンターまでお送りください。</p> <p>> 保証を受ける場合には、製品ご購入時の領収書が必要となります。</p> <p>> 問題点の詳細な記述、自転車に関する情報（製造メーカー、製造年、モデル）、FOX 製品のタイプ、スプリングレートおよび差出人住所および昼間の連絡先電話番号を記載した紙を同封してください。</p>		

メンテナンス間隔

	作業項目	購入直後	各走行後	8 時間ごと	40 時間ごと	100 時間ごと
	サグの設定 (すべての shox)	X				
	リバウンドの設定 (リバウンド調節付き shox)	X				
	ショックボディの洗浄 (すべての shox)		X			
エアスリーブメンテナンス (FLOAT TRIAD または DHX AIR shox)	濡れて泥だらけの状態			X		
	乾いて埃まみれの状態				X	
	ブッシングおよびリデューサーの洗浄/点検				X	
	サスペンション液のサービス (必ず FOX Shox またはその認定サービスセンターで行ってください。)					X

目次

ありがとうございます！	144
安全事項	144
重要安全情報	144
一般的メンテナンス	145
サグ測定	145
FOX 高圧ポンプを使用	145
FLOAT / DHX エアショックの "スタックダウン"	146
AVA (空気量調節)	146
エアスリーブのメンテナンス	147
リデューサーの取り外し	148
ProPedal バルブ調節	xxx
FLOAT: 149	
SHOX の取り付け	150
サグ設定	150
リバウンド調節	151
ProPedal 調節	151
DHX: 152	
サグ設定	153
スプリング交換	153
スプリングオリエンテーション	154
リバウンド調節	154
ボトムアウト・レジスタンスの調節	154
ProPedal 調節	155
ブースト・バルブ	155
ProPedal およびブースト・バルブの相互作用	155
DHX AIR: 156	
サグ設定	157
リバウンド調節	157
ボトムアウト・レジスタンス調節	157
ProPedal 調節	158
ブースト・バルブ	158
ProPedal およびブースト・バルブの相互作用	158
VANILLA: 159	
サグ設定	160
リバウンド調節	161
スプリング交換	161
BRAIN/BRAIN REMOTE	162
サグ設定	163
リバウンド調節	164
BRAINFADE の調節 (BRAIN のみ)	164
BRAINFADE の調節 (BRAIN REMOTE のみ)	164
TRIAD: 165	
サグ設定	166
リバウンド調節	166
圧縮調節	167
チューニング時の注意事項	168
外国語版	
フランス語	30
イタリア語	58
オランダ語	86
スペイン語	114
日本語	142
国際サービスセンター	170



は、一見わかりにくい、または問題が起きた際に役立つ情報を意味します。



は、これに従わない場合には、致命的になりかねない重傷またはお買上げのフォークに激しい損傷をもたらす危険性がある情報を意味します。

おめでとうございます！

お持ちの特別仕様車には、FOX Racing Shox が装備されています。FOX Racing Shox の全製品は、カリフォルニア州サンタクルーズで、業界屈指のスペシャリストによって設計、テスト、製造されています。

FOX Racing Shox 製品をご利用およびご支援くださる皆様には、本製品が最高の性能を発揮できるよう、フォークを正確に取り付けることの重要性をご理解いただきたいと思います。このマニュアルでは、フォークのセットアップとメンテナンス方法をステップごとに説明しています。また後日、アフターサービス、保証を受ける際のお買い上げ証明としてレシートが必要となりますので、本マニュアルと共に保管することをお勧めします。

メンテナンスに関する詳細な説明は、Fox サービスマニュアルの該当製品の項目をご覧ください。このマニュアルでは、ステップごとの精密な点検修理作業の説明を、意図的に行なっていません。精密な点検修理作業は、FOX Racing Shox あるいは認定 FOX Racing Shox サービスセンターで行うことをお勧めしています。このマニュアルでは、特別仕様車のお買上げ時に装備されていたリアショックについてのみ説明いたします。自転車本体に関しては、自転車の取扱説明書をご覧ください。

安全事項

- > お手持ちの自転車およびサスペンションシステムを、常に最高の状態に維持して下さい。
- > 走行時には、体を保護する服、目を保護するためのゴーグル、ヘルメットを常に着用して下さい。
- > ご自身の限界を知り、その範囲内で走行して下さい。
- > 国際マウンテンバイク協会のトレイル規則に従って下さい。詳しくは、www.imba.com をご覧下さい。
 1. オープントレイルのみを走行します。
 2. トレースを残さないようにします。
 3. 自転車を制御します。
 4. トレイルでは、常に道を譲ることを心掛けます。
 5. 動物を愛護します。
 6. しっかりと計画を立てます。

重要安全情報

- > もしショックからオイルが漏れたり、通常とは異なる音がする場合には、ご利用をやめ、専門家によるショックの点検を受けて下さい。故障あるいは機能に問題のあるショックを利用されますと、自転車の制御を失い、致命的になりかねない重傷を負う危険性がありますので、ご注意ください。
- > 自転車のフレームおよびショックは改造しないで下さい。純正 FOX Racing Shox 部品のみをご利用下さい。改造、不適切なサービスやアフターマーケット部品を利用した場合は、保証の適用外となり、また、ショックの誤動作を引き起こし、自転車の制御を失い、致命的になりかねない重傷を負う危険性がありますので、ご注意ください。
- > このマニュアルの表紙裏にある推奨される定期メンテナンスに従って下さい。ショックに関するサービスは、米国内では FOX Racing Shox にて、また米国外では認定サービスセンターで行って下さい。ただし、エアスリーブとハードウェアの搭載に限り、お客様ご自身および小売店による修理およびメンテナンスが認められています。
- > FOX Racing Shox には窒素ガスが充填されています。ショックのアイレット側の端にある白いナイロン（プラスチック）性プラグを引き抜かないで下さい。ショックのガス充填部分は、FOX Racing Shox 技師のみが開けるものとします。窒素ガスで加圧されたショックを開ける作業は、危険が伴い、致命的になりかねない重傷を負う危険性がありますので、ご注意ください。
- > エアショックの場合、エアスリーブの修理を行うのに、ショックの窒素ガス充填部分を開ける必要はありません。



ショックが圧縮されたままの状態や、通常のニュートラルな長さ（ショックに荷重がかかっていない状態）に戻っていない（戻ることのない）場合には、ショックを引き離す、開く、分解または修理する等の行為を決して試みないで下さい。致命的な重傷を負う危険性があります。



このマニュアルの内容は、FOX RACING SHOX をオリジナル仕様とする特別仕様車のみ当てはまるものです。

一般的メンテナンス

FLOAT、BRAIN、TRIAD および DHX AIR ショック上に、エアスリーブの潤滑油がボディに少量残っていることがあります。これは通常のことです。もしエアスリーブの潤滑油が残っていない場合には、エアスリーブに再度潤滑油を注す必要があることを意味しています。ショック全モデルに関する他の留意点：

- > また苛酷な条件下で走行する場合は、より頻繁なショックとエアスリーブのメンテナンスが必要となります。このマニュアルの表紙裏にあるメンテナンス間隔を参照して下さい。
- > ショックは石鹼と水だけで洗浄して下さい。
- > ショックの洗浄に、高圧洗浄機を使用しないで下さい。
- > 内部機能の作業は FOX Racing Shox あるいは認定 FOX Racing Shox サービスセンターで行って下さい。

サグ測定

以下の手順で、FOX Racing Shox のサグを測定します。

測定 #1

1. まず自転車に乗る前に、1つの搭載ボルトの中央から、別の搭載ボルトの中央までの距離を測り、記録します。これを“アイ・ツー・アイ”測定方法と呼びます。

エアショックには、ショックボディ上に O-リングがあります。この O-リングは、自転車に乗っていない状態で、エアスリーブのスクラッパーリップに対して押し上げられる形になっている筈です。もしこの O-リングがない場合には、“アイ・ツー・アイ”測定方法を使用します。

測定 #2

2. 通常の乗車スタイルで自転車に乗ります。乗り手の体重が、サドル、ハンドルバー、ペダルにそれぞれかかるようにします。また、乗り手が通常の走行時と同じギアおよび服装一式を着用するようにお勧めします。しっかりと自転車に乗った状態である必要があるので、壁やポストを支えにしても構いません。サドルやペダル上で絶対に跳ねないで下さい。
3. 補助の人が、アイ・ツー・アイの距離を測ります。

エアショックの場合には、自転車から降り、スクラッパーリップと O-リングの距離を測ります。これが、O-リング方式を用いたサグです。

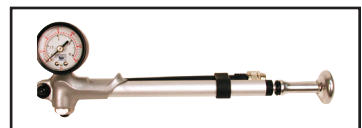
4. 測定 #2 の値を、測定 #1 の値から引きます。2 つの差違がサグです。

測定値 #1 - 測定値 #2 = サグ
(例： 7.875 - 7.275 = .600)

5. このマニュアルの各々のショックの部分について、エアおよびスプリングの設定表をご覧下さい。サグが仕様通りでない場合は、各々のショックの部分について、サグの設定に関する説明に従って下さい。

FOX 高圧ポンプを使用

FOX Racing Shox 高圧エアポンプは、FLOAT、BRAIN、TRIAD、DHX、DHX AIR ショックにご使用いただけます。ポンプは、ショックに空気圧を加えたり、抜いたりするために使用します。ショックの加圧：



FOX 高圧ポンプ

1. ショックからシュレーダーエアバルブキャップを外します。
2. ポンプのバルブチャックを、ポンプゲージ上に圧力が表示されるまで、ショックのエアバルブに通します。この時約 6 回転させます。この時、エアバルブ上のポンプを強く締めすぎると、ポンプチャックシールが壊れてしまうのでご注意ください。

- ポンプを数回転させます。圧力が少しずつ増えていくはずですが、もし圧力が急速に増えていくような場合には、ポンプがきちんとフィットしているかどうか、そしてエアバルブ上でしっかり締まっているかどうか確認して下さい。



ショックに空気圧がない場合は、ゲージにはゼロと表示されます。

- 希望する空気圧設定まで空気を注入します。エアショックのメインエアチャンバの平均空気圧は、50 から 300psi の範囲です。メインエアチャンバ内の空気圧は、決して 300PSI を超えないようにして下さい。圧力を低くする場合には、黒いブリードバルブを押して下さい。ブリードバルブを半分まで押し下げ、そのままの状態を保つと、ポンプとショックから空気が抜けていきます。ブリードバルブを完全に押し下げてしまうと、ほんの少量の空気しか抜けません。エアバルブ・フィッティングからポンプを抜くと、ショックからではなく、ポンプホースから空気が抜ける音がします。



ショックにポンプをつける時に、ホースに空気を十分入れる必要から、空気圧の表示が最低 10 から 20psi 程度まで下がることがあります。

- シュレダーエアバルブキャップを交換します。

FLOAT/DHX エアショックの "スタックダウン"

特定の状況下において、FLOAT、BRAIN、TRIAD または DHX Air ショックが、下で止まってしまうことがあります。もしエアショックが、通常のニュートラルな長さ（アイ・ツー・アイ・ポジション）に戻らない場合は、外部エアスリーブやショックの他の部品を絶対に分解しないで下さい。ショックを分解すると、空気がエア・ネガティブ・チャンバー内に閉じ込められてしまい、大怪我をする危険性があります。この状況を「スタックダウン」といいます。

ショックが "スタックダウン" した場合は、FOX Racing Shox あるいは認定 FOX Racing Shox サービスセンターに製品を送り、サービスを受けて下さい。サービスおよび保証に関する情報は、このマニュアルの表紙裏にあります。

"スタックダウン" を起こしたショックの点検手順:

- エアキャップを取り外し、シュレダーバルブを押しさげて、ショックの空気圧を下げます。エアキャップの上部を使い、シュレダーバルブを押し下げることができます。
- FOX Racing Shox 高圧ポンプを使って、ショックの空気圧を 250 psi まで高めます。
- もしショックが伸びなければ、ショックは "スタックダウン" を起こしています。



スタックダウンしたショックを、引き離す、開く、分解または修理する等の行為を決して試みないで下さい。大怪我をする危険性があります。FOX Racing Shox あるいは認定 FOX Racing Shox サービスセンターまでご連絡下さい。

AVA(空気量調節)

特定の FLOAT モデルは、新しいレベルの微調整を可能にする AVA 技術 (右図を参照) を備えています。ポジティブ・エア・スプリング・チャンバーのボリュームを AVA で増減することにより、乗り手はスプリングカーブの形を変えることができます。AVA システムにより、リニア・スプリング・レートが標準的 FLOAT ショックよりも 30% 多いショックにすることができます。AVA は、最大 200 lbs のポトムアウト調節を可能にします。

AVA のチューニングは走行前に実施します。このシステムは、走行中の使用を想定したものではありません。調節前に、ショックを洗浄し、特に AVA エアスリーブの溝をきれいにしておく必要があります。AVA リングを回すには、ショックから空気をほとんど抜いた状態にする必要があります。



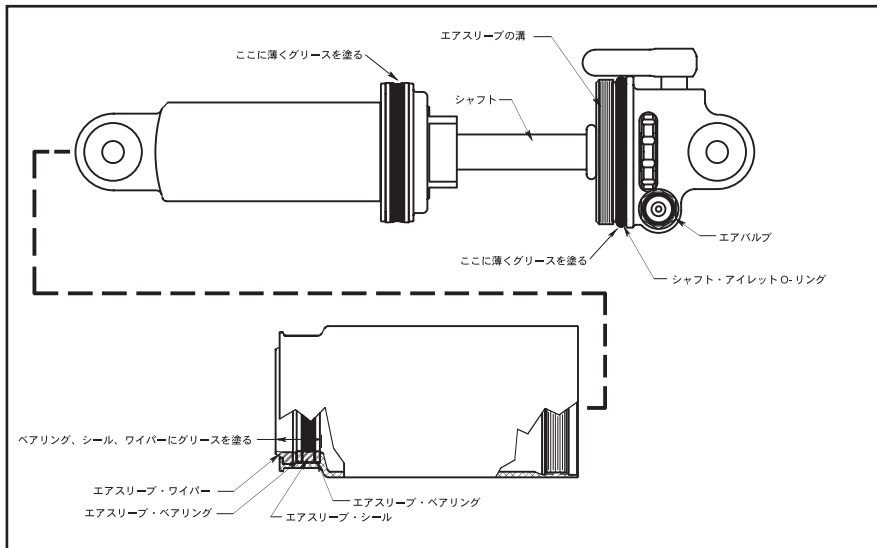
AVA エアスリーブ

ショックポンプを使用してショックから出来る限りほとんどの空気を抜き、AVAリングが回りやすいようにします。リングを、エアスリーブとかみ合っているワイヤーリングにほんの少し触れるまで回します。これが最大容量となります。ショックに空気を入れ、サグを通常の状態に設定します。AVAはサグに影響しません。ショックが簡単にボトムアウトしすぎる場合は、ショックの空気を抜き、エアスリーブの次の設定までリングを回します。そしてショックに空気を入れ、サグを通常の状態に設定して、再びフルストローク・テストを行います。お客様の走行スタイルと地形に最適の設定となるまで、この過程を繰り返します。

エアスリーブの作業は、他のFLOATショックにも行うことが出来ます。これ以外の通常のFLOATシールメンテナンスを行った後、特に泥だらけや埃っぽい環境での走行後には、AVAシールから汚れを落して下さい。ワイヤーリングとエアスリーブを外す時には、慎重に行ってください。シールと部品から汚れを落とし、破損や摩耗がないかどうかチェックします。再度注油し、慎重に組み立てます。重要なシーリングがある部分や注油が必要な部分に関する表を参照します。

エアスリーブのメンテナンス

1. エアバルブから空気をすべて抜きます。
2. ショックを数回回転させ、ネガティブ・エアから圧力を抜きます。
3. 再度、エアバルブから空気をすべて抜きます。
4. 搭載されたハードウェアを取り外し、自転車からショックを取り外します。
5. ショックのどの部分もぶつけないように注意しながら、ソフトジョーバイスにあるシャフト・アイレットをクランプで締めます。
6. ドライバー、あるいはパンチをボディ・アイレットにスライドさせ、エアスリーブがボディから出ないようにします。
7. エアスリーブを左に回して緩め、ショックのボディを滑り落とします。
8. ドライバーまたはパンチを外し、ショックからエアスリーブを外します。



エアスリーブ：FLOATエアショックボディのオリエンテーションおよび位置

洗浄および検査

1. パーツクリーナーを使ってエアスリーブの内部から汚れを落します。エアスリーブ内部のシール、ベアリングを検査します。破損あるいは摩耗した場合には交換して下さい。
2. パーツクリーナーを使って、ボディ、ボディ・シール、ボディ・ベアリング、シャフトから汚れを落します。
3. ボディ・シール、ボディ・ベアリングに破損、摩耗がないかどうか検査します。破損あるいは摩耗した場合には交換して下さい。

グリース塗布と組み立て

1. シャフト・アイレット O-リングとシャフト・アイレットの溝に、FLOAT 液または Slick Honey™ を潤滑油として注入します。
2. ボディ・シール、ボディ・ベアリング全体に潤滑油を塗布し、ボディ・ベアリング上の潤滑油のリザーブタンクにも残します。
3. エアスリーブ・シール、エアスリーブ・ベアリング、エアスリーブ・ワイパーに、潤滑油を軽く塗ります。FLOAT 液をここで使うこともできます。
4. エア・バルブをエアスリーブ・ワイパーがボディの端に来るまで、ボディ上をスライドさせます。この時にはエアスリーブは通さないでおきます。



エア・ネガティブ・チャンバー内に留まっている圧力があるため、エアスリーブを圧縮するのは非常に困難です。ショックを自転車に搭載するまで待てば、自転車を使ってショックを簡単に圧縮できます。

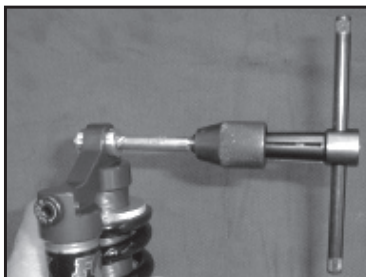
5. ブッシングとリデューサーを乾燥させます。
6. リデューサーをアイレット・ブッシングに取り付け、次にショックを自転車に再び取り付けます。
7. エアスリーブにネジを取り付けられるようになるまで、慎重にショックを圧縮します。エアスリーブがボディから滑り落ちないようにします。
8. エアスリーブをシャフト・アイレット・ハンドにしっかり通します。
9. ポンプの使い方の項にある、空気の入れ方の説明を参照し、ショックに空気を入れます。

リデューサーの取り外し

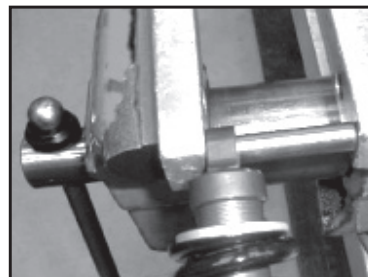
1. 1/4 インチのボルトエクストラクタ（下図を参照）を引くようにして左方向に回します。ブッシングのリデューサーがゆるんできます。
2. 反対側についても、同じ手順を繰り返します。
3. ステンレス製のスチールスリーブをショックのブッシングに差し込み、ショック・アイレットをソフトジョーバイスに取り付けます。
4. スリーブがブッシングに入るようにして、バイスハンドルを回します。スリーブが反対側に押し込まれたら、ショックボディを上方向に回転させ、ショック・アイレットがスリーブの中央までスライドするようにします。
5. ショックをバイスから取り外し、アルミ製スリーブスペーサーを両サイドに取り付けます。
6. ショック・アイレットをバイスに再装填し、最終的なセンタリング調節のためにハンドルを上下に回します。



1/4 インチのボルトエクストラクタ工具



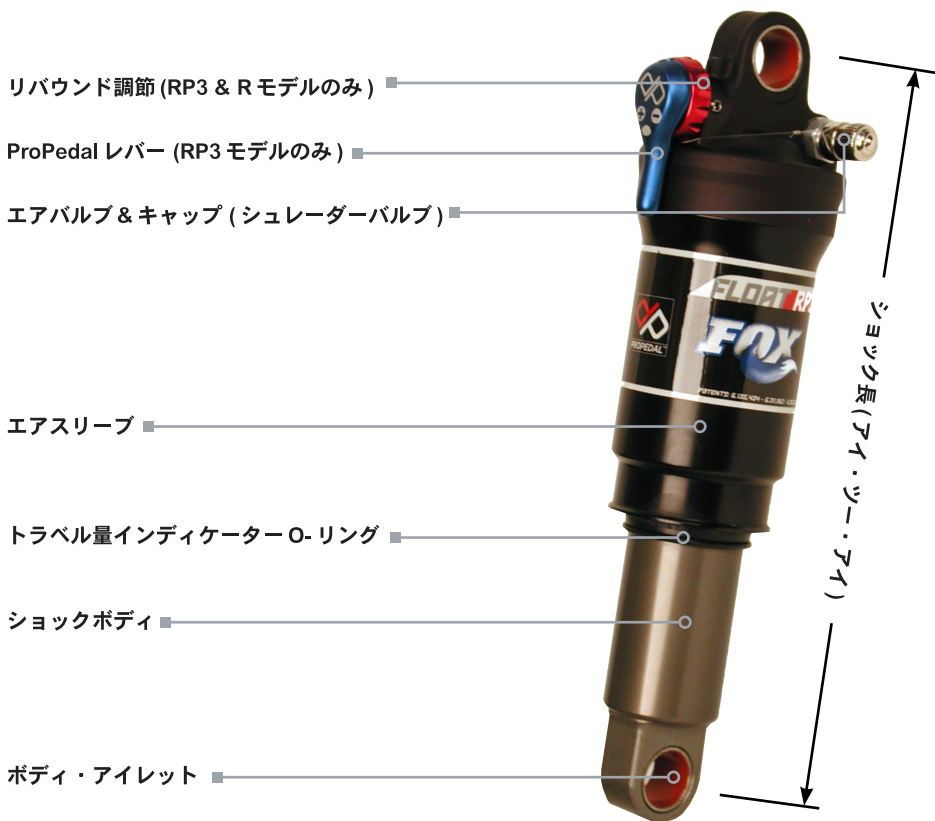
ボルトエクストラクタ工具を、リデューサーに差し込みます。



Centering バイス上のアルミ製ハードウェアのセンタリング

FLOAT

	FLOAT RP3	FLOAT R	FLOAT
機能	<ul style="list-style-type: none"> > 調節可能な ProPedal > 調節可能なエアスプリング > 調節可能なリバウンド 	<ul style="list-style-type: none"> > 調節可能なエアスプリング > 調節可能なリバウンド 	<ul style="list-style-type: none"> > 調節可能なエアスプリング
			
調整	<ul style="list-style-type: none"> > リバウンド：ノブ（赤色） > ProPedal 調整：青色レバー > エアスプリング調整：シュレージャーバルブ経由 	<ul style="list-style-type: none"> > リバウンド：ノブ（赤色） > エアスプリング調整：シュレージャーバルブ経由 	<ul style="list-style-type: none"> > エアスプリング調整：シュレージャーバルブ経由



挿絵のショックの形が、お持ちの自転車のショックと異なる場合がありますが、用語および制御機能は同一のものです。

サグ設定 (全 FLOAT モデル)

FLOAT ショックの機能を最適化するためには、サグを調節する必要があります。初めてのサグの測定の場合は、105 ページのサグ測定を参照して下さい。

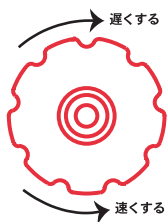
サグを設定するには：

1. ショック上のシュレーダー・エアバルブを見つけ、バルブキャップを取り外します。
2. FOX Racing Shox ポンプを、ゲージに圧力が表示されるまで、エアバルブに回しながら取り付けます。絶対に締めすぎないで下さい。
3. お好みの空気圧がゲージに表示されるまで空気圧を加えます。サグ設定については、下記のエアスプリングの設定を参照して下さい。
4. ポンプをエアバルブから外し、サグを測定します。
5. 適切なサグ値になるまで2から4の作業を繰り返します。

エアスプリングの設定

ショックトラベル インチ/ ミリメートル	サグ推奨値インチ/ ミリメートル
1.00/25.4	.25/6.4
1.25/31.7	.31/7.9
1.50/38.1	.38/9.5
1.75/44.4	.44/11.1
2.00/50.8	.50/12.7
2.25/57.1	.56/14.2
2.50/63.5	.62/15.7
3.00/76.2	.75/19.1

リバウンド調節 (FLOAT RP3 & FLOAT Rのみ)



遅くする (右回り) リバウンド・ダンピングが、ショックが圧縮された後に戻る速度を制御します。適切なリバウンド設定は個人の好みの問題で、乗り手の体重、乗車スタイル、乗車状態によって異なります。大体の感じとして、リバウンドの設定は、反動で乗り手がサドルから落ちてしまわない範囲で、できる限り速くします。

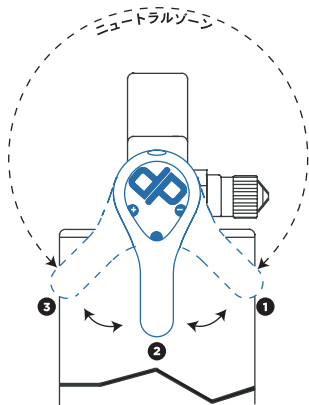
9 クリックの調節段階があります。

リバウンドを遅くするには、赤い調節ノブを右方向に回します。

リバウンドを速くするには、赤い調節ノブを左方向に回します。

ProPedal 調節 (FLOAT RP3のみ)

3段階 ProPedalチューニングレバーで、走行中の ProPedal 調節が可能です。ProPedalダンピングが、ペダルによって引き起されるサスペンション・ポブを軽減します。3段階の調節レベルとは：



1. ライト ProPedal
2. ミディアム ProPedal
3. フル ProPedal

異なる走行条件、走行環境に応じ、各設定によってショックをチューニングします。例えば、山頂を目指す際にはフル ProPedal ポジションに設定し、逆に下るときにはライト ProPedal ポジションに設定します。サスペンションのデザインと乗り手の経験により、最適な設定は、自転車および乗り手ごとに異なります。

どの ProPedal ポジションが最適かを判断するには、自転車を時速 24Km で走行し、ショックの動きをモニタリングします。ポジションを変更して見て、好ましいポブ吸収が得られると共に、最も効果的にサスペンションの動きを軽減するポジションを選択します。なお設定は、走行条件、走行環境で変化することがあります。

フル ProPedal とライト ProPedal 調節の間にある "ニュートラルゾーン" は、2つのポジションの間にある単なる推移帯です。しかし、戻り止めがないため、ハードライディング中に、レバーが偶然、フル ProPedal またはライト ProPedal 設定にシフトすることが考えられるので、FOX は、レバーを "ニュートラルゾーン" にしておかないようお勧めしています。

ProPedal バルブ調節 (FLOAT RP3 & FLOAT Rのみ)



ライト ProPedal



ミディアム ProPedal



フル ProPedal

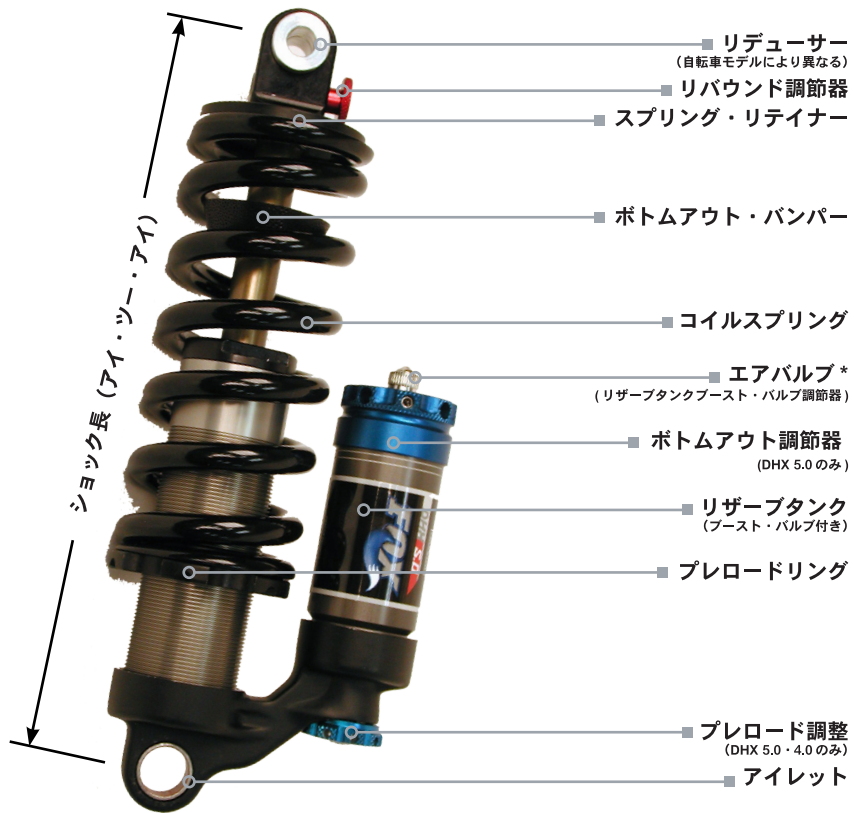
FOX Racing Shox とお買上げのバイクメーカーが協力した結果、お手持ちの自転車のリアサスペンションのデザインに最適な ProPedal のチューンアップを備えた FLOAT RP3 / FLOAT R ショックを実現しました。この内部機能による ProPedal バルブ調節は、上記のユーザーが調節できる ProPedal チューニングとは異なるものです。

ご使用の FLOAT RP3 / FLOAT R は、次の 3 つの設定の中の 1 つとして自転車メーカーに引渡されたものです：ファーム、ミディアム、ライト

お持ちの FLOAT RP3 / FLOAT R の設定は、エアスリーブの低部にあるバンドに、左に示すアイコンを用いて表示されています。ライトは、一番小さいバーで表わされています。ミディアムは、中程度のバーで表わされています。ファームは、一番大きいバーで表わされています。該当する調節方法がハイライトされ、上部および底部の側面に、矢印で表示されます。

お買上げの 2006 FLOAT RP3 / FLOAT R は、FOX のこれまで最高の FLOAT ショック ProPedal の走行性能を実現する最新の先端圧縮ダンピング技術を用いています。お買上げの ProPedal 調節の変更は、Fox の認定サービスセンターで、保証対象外のため、手数料をいただいで行なっています。

	5.0	4.0	3.0
機能	<ul style="list-style-type: none"> > ブースト・バルブ/位置検出 > 調節可能 ProPedal > 調節可能ボトムアウト・レジスタンス > シュレーダーバルブ経由の調節可能チューニング範囲(一部のモデル) > リバウンド調節器 > コイルスプリング・プレロード 	<ul style="list-style-type: none"> > ブースト・バルブ/位置検出 > 調節可能 ProPedal > シュレーダーバルブ経由の調節可能チューニング範囲(一部のモデル) > リバウンド調節器 > コイルスプリング・プレロード 	<ul style="list-style-type: none"> > ブースト・バルブ > シュレーダーバルブ経由の調節可能チューニング範囲(一部のモデル) > リバウンド調節器 > コイルスプリング・プレロード
調整	<ul style="list-style-type: none"> > リバウンド：ノブ (赤色) > ボトムアウト調節：大きいダイヤル (青色) > ProPedal 調節：小さいダイヤル (青色) 	<ul style="list-style-type: none"> > リバウンド：ノブ (赤色) > ProPedal 調節：小さいダイヤル (青色) 	<ul style="list-style-type: none"> > リバウンド：ノブ (赤色)



* エンデュー口用特別仕様車には使用できません。



挿絵のショックの形が、お持ちの自転車のショックと異なる場合がありますが、用語および制御機能は同一のものです。

サグ設定 (全モデル)

お買上げの DHX ショックの最高の走行機能をお楽しみいただくには、サグの設定が必要となります。サグを設定するには：

- 145 ページのサグ測定の説明に従いサグを測定し、下記のコイルスプリング設定表にあるサグ設定推奨値と比較します。
- それに基づき、プレロードリングを調節します。

サグ値が表の数値より低い場合は、プレロードノブを左回りに回します。常に、スプリングがしっかり固定され、勝手に動かないことを確認して下さい。



プレロードリングがスプリングと噛み合ったら、プレロードリングを右方向へ一回回します。適切なサグを得るために、このポジションからプレロードリングを左方向に回す必要があれば、よりレートの高いスプリングを使う必要があります。

サグ値が表の数値より高い場合は、プレロードリングがスプリングと噛み合った後、プレロードリングを右方向に最大二回まで完全に回します。

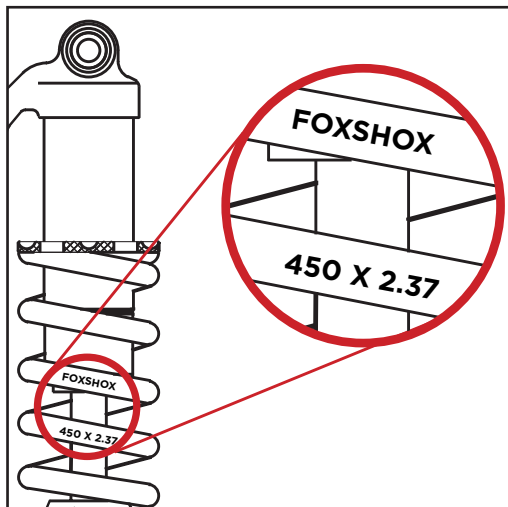


プレロードリングがスプリングと噛み合った後、適切なサグ値を得るために、スプリングを右方向に完全に二回以上回す必要があれば、よりレートの高いスプリングを使う必要があります。

- 必要な場合は、FOX Racing Shox または認定サービスセンターで、レートの高いまたは低いスプリングをお求め下さい。

コイルスプリングのチューニング

ショックのトラベル インチ/ミリ	推奨サグ値 インチ/ミリ
2.00/50.8	.50/12.7
2.25/57.1	.56/14.3
2.50/63.5	.63/15.9
2.75/69.6	.69/17.5
3.00/76.2	.76/19.0



スプリングレートは、ショックスプリングに、直接印刷されています。上記スプリングは、トラベルが 2.37 インチで、スプリングレートが 450-lb/in のものです。

スプリング交換 (全モデル)

1. スプリングが楽に動くようになるまで、プレロードリングを緩めます。
2. スプリングを持ち上げ、スプリング・リテイナーを取り外します。
3. スプリングをショックのボディ上でスライドさせます。自転車のモデルによっては、リデューサーを取り外してからスプリングを取り外さなければならないものがあります。
4. 新しいスプリングを正しい方向に置き (下記スプリングオリエンテーションを参照)、ショックボディ上へスライドさせます。
5. スプリング・リテイナーをスプリングの下のショック上の位置に戻し、スプリング・リテイナーのスロットの開放部がスプリング端の平らな部分にくるようにします。
6. プレロードリングを、スプリングが動かなくなるまで丁度に締めます。
7. プレロードリングを完全にもう一度回します。

スプリングオリエンテーション

スプリングをショックボディに付け直すとき、スプリングが正しい方向に設置されていることが重要です。原則的に、スプリング・リテーナーのスペースが、スプリングが輪状になってくる部分ではなく、スプリングの平らな部分の上にくるようにします。正しい方向になるまで、スプリング・リテーナーを回転させます。

オリエンテーションが正しくない場合には、スプリングに修理不能の故障が生じ、制御を失った結果、致命的となる重傷を負う場合がありますので、ご注意リアさい。下記の図は、正しいスプリングオリエンテーションと誤った例を示しています。正しいスプリングオリエンテーションは、コイルスプリングを使う FOX Racing Shox リアショックの全製品に当てはまります。

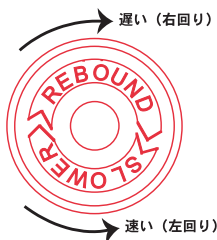
誤り



正しい



リバウンド調節 (DHX 5.0、4.0 & 3.0)



リバウンドは、ショックが圧縮された後に戻るレートを制御します。適切なリバウンド設定は個人の好みの問題で、乗り手の体重、乗車スタイル、乗車状態によって異なります。大体の感じとして、リバウンドの設定は、反動で乗り手がサドルから落ちてしまわない範囲で、できる限り速くします。

リバウンドを遅くするには、赤い調節ノブを右方向に回します。

リバウンドを速くするには、赤い調節ノブを左方向に回します。

ボトムアウト・レジスタンス (DHX 5.0のみ) の調節



ボトムアウト・レジスタンスは、圧縮ストロークの最終部分に影響を与えます。ボトムアウトの調節はブースト・バルブ内の圧力を最大 125psi にして行います。ノブは手で回すことができますし、また外辺部にある穴の1つに4mmのヘキサキーを挿入することで回すことができます。4mmのヘキサキー以外のツールでノブを絶対に回さないで下さい！

ノブを完全に右回りに回すことで最大のボトムアウト・レジスタンスを得ることが出来ます。また左回りに回すと弱くすることが出来ます。調節の際には3回転回すことが出来、リザーブタンク上には対応した3つの調節インディケーターラインがあります。



ノブが滑らかに回らない場合には、ノブを最大容量にセットし 2mm (5/64 インチ) のヘキサキーを使って外辺部の穴のネジを緩めてノブを取り外します。ノブの汚れを十分に取り除き、グリスを塗り、再度取り付けます。

ProPedal 調節 (DHX 5.0. & 4.0 のみ)

ProPedal 調節ノブにより乗り手は ProPedal ダンピングの総量を調節することが出来ます。ProPedal ダンピングは圧縮ストロークの出だしに影響を与え、ペダルによって発生するサスペンション・ボブを制御するように設計されています。サスペンションの設計が異なるため、必ずしもすべての自転車に同レベルのブースト・バルブによる ProPedal ダンピングが必要なわけではありません。

15 クリックの調節段階があります。ProPedal 設定を最も軽いものにするにはノブを完全に左回りに回し、逆に最も重い ProPedal ダンピングにするには完全に右回りに回します。

ブースト・バルブ*



ブースト・バルブによって、スクエアエッジの衝撃吸収からボトムを感じさせないストロークエンド感までの効率的な ProPedal の切れ目のない移行を可能にする位置検出ダンピングのスキームがつけられます。ブースト・バルブは、ProPedal とボトムアウト調節を分断し、ProPedal プラットフォームの調節がボトムアウト調節から独立して行えるようにします。

ブースト・バルブは直接調節されません。その代わりに、その動きと走行機能の特性は、リザーブタンク内の空気圧設定と ProPedal ノブ (DHX 5.0 & 4.0 のみ) の調節によって決まります。

お買上げの DHX ショックの圧縮ダンピング特性を変えるには、FOX 高圧ポンプ (105 ページの FOX 高圧ポンプを使用を参照) をリザーブタンク上のエアバルブ取り付けます。

固い感じの走行には、10-15 ポンドの空気圧を追加します。

柔らかい感じの走行には、ポンプのブリードバルブを使い、ショックの空気圧を 10-15 ポンド下げます。

手順を繰返す前に、自転車に乗って設定の確認を行ないます。



リザーブタンク・エアチャンバの空気圧が 200PSI 以上または 75PSI 未満の状態の場合は、決して自転車に乗らないでください。そのような走行によりショックに発生した損傷は、保証対象外の修理が必要となります。

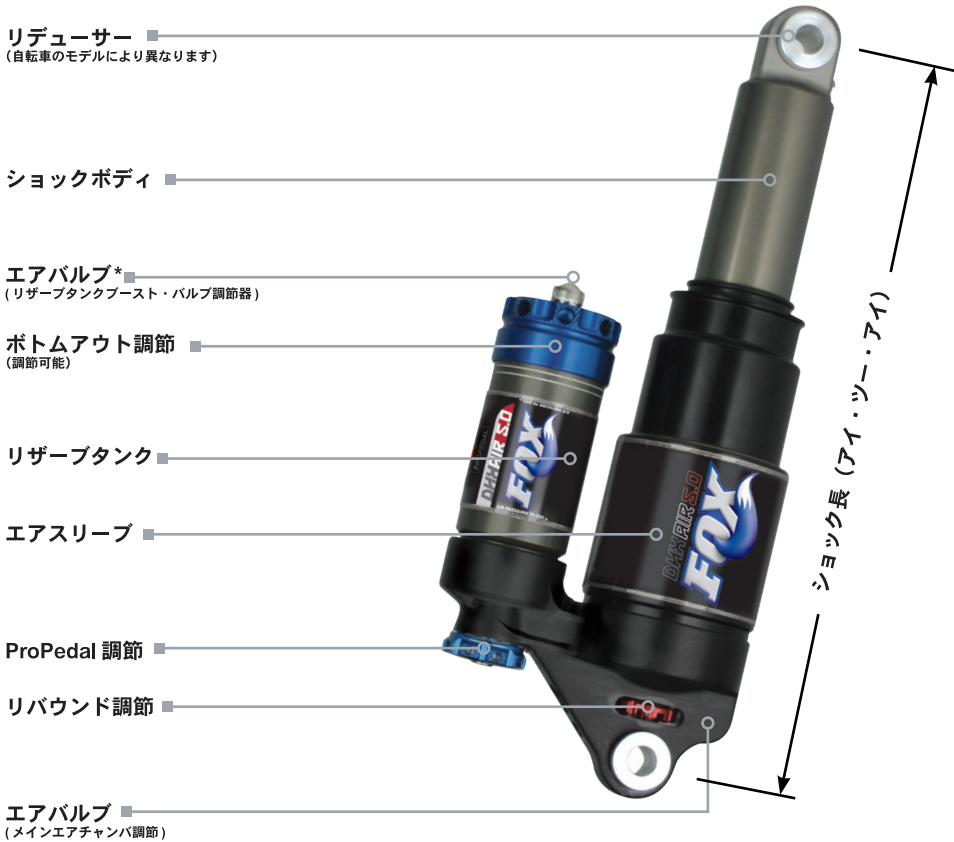
ProPedal およびブースト・バルブの相互作用 (DHX5.0 & 4.0 のみ)

ブースト・バルブの様々な点が ProPedal 調節に影響します。ProPedal 調節ノブが完全に左回りに回っている (最も軽い ProPedal ダンピング・ポジション) にも関わらず圧縮ダンピングがまだ強い場合には、リザーブタンク上のシュレーダーバルブにショックポンプを取り付け、圧力を 10-15psi 減圧します。そしてお好みの圧縮ダンピングになるまで繰り返します。ProPedal 調節ノブが完全に右回りに回していても十分な圧縮ダンピングを得られない場合には、お好みの圧縮ダンピングが得られるまでブースト・バルブに 10-15psi の圧力を加えます。

*DHX 装備のエンデューロ用特別仕様車には該当しません。

DHX AIR

	AIR 5.0	AIR 4.0	AIR 3.0
機能	<ul style="list-style-type: none"> > ブースト・バルブ/位置検出 > 調節可能なエアスプリング > 調節可能な ProPedal > 調節可能なボトムアウト・レジスタンス > シューレーダーバルブ経由の調節可能チューニング範囲 (一部のモデル) > リバウンド調節器 	<ul style="list-style-type: none"> > ブースト・バルブ/位置検出 > 調節可能なエアスプリング > 調節可能な ProPedal > シューレーダーバルブ経由の調節可能チューニング範囲 (一部のモデル) > リバウンド調節器 	<ul style="list-style-type: none"> > ブースト・バルブ/位置検出 > 調節可能なエアスプリング > シューレーダーバルブ経由の調節可能チューニング範囲 (一部のモデル) > リバウンド調節器
調整	<ul style="list-style-type: none"> > リバウンド：ノブ (赤色) > ボトムアウト調節：大きいノブ (青色) > ProPedal 調節：小さいダイヤル (青色) > エアスプリングのチューニング：メインエアチャンバ経由のローアーボディ上のシューレーダーバルブ 	<ul style="list-style-type: none"> > リバウンド：ノブ (赤色) > ProPedal 調節：小さいノブ (青色) > エアスプリング調節：ローアーボディ上のメインエアチャンバシューレーダーバルブ経由 	<ul style="list-style-type: none"> > リバウンド：ノブ (赤色) > エアスプリング調節：ローアーボディ上のメインエアチャンバシューレーダーバルブ経由



* エンデュロ用特別仕様車には使用できません。



挿絵のショックの形が、お持ちの自転車のショックと異なる場合がありますが、用語および制御機能は同一のものです。

サグ設定

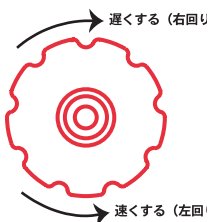
FLOAT ショックの走行機能を最適化するためには、サグを調節する必要があります。サグを設定するには：

1. ショック上のシュレーダー・エアバルブを見つけ、バルブキャップを取り外します。
2. FOX Racing Shox ポンプを、ゲージに圧力が表示されるまで、エアバルブに回しながら取り付けます。絶対に締めすぎないで下さい。
3. お好みの空気圧がゲージに表示されるまで空気圧を加えます。サグの設定には、下記のエアスプリング設定表を参照して下さい。
4. ポンプをエアバルブから外し、サグを測定します。
5. 適切なサグ値になるまで2から4の作業を繰り返し、その後、バルブキャップを交換します。

エアスプリングの設定

ショックトラベル量 インチ/ミリメートル	サグ推奨値 インチ/ ミリメートル
2.00/50.8	.25/6.3
2.25/57.2	.56/14.2
2.50/63.5	.62/15.7
3.00/76.2	.75/19

リバウンド調節



リバウンドは、ショックが圧縮された後に戻るレートを制御します。適切なリバウンド設定は個人の好みの問題で、乗り手の体重、乗車スタイル、乗車状態によって異なります。大体の感じとして、リバウンドの設定は、反動で乗り手がサドルから落ちてしまわない範囲で、できる限り速くします。

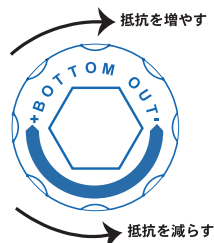


参考までに、方向は、リザーブタンクの上（エアバルブキャップ側）から見おろしたものです。

リバウンドを遅くするには、赤い調節ノブを右方向に回します。

リバウンドを速くするには、赤い調節ノブを左方向に回します。

ボトムアウト・レジスタンス調節 (DHX AIR 5.0のみ)



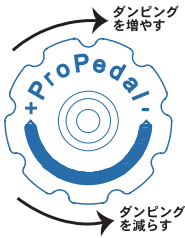
ボトムアウト・レジスタンスは、圧縮ストロークの最終段階に影響を与えます。ボトムアウトの調節はブースト・バルブ内の圧力を最大 125psi にして行います。ノブは手で回すことができますし、また外辺部にある穴の1つに4mmのヘキサキーを挿入することで回すことができます。ノブを回転させる場合には、4mm(5/32インチ)のヘキサキー以外のツールは絶対に使用しないで下さい！

ノブを完全に右回りに回すことで最大のボトムアウト・レジスタンスを得ることができます。また左回りに回すと弱くすることができます。調節の際には3回転回すことが出来、リザーブタンク上には対応した3つの調節インディケーターラインがあります。



ノブが滑らかに回らない場合には、ノブを最大容量にセットし 2mm (5/64インチ) のヘキサキーを使って外辺部の穴のネジを緩めてノブを取り外します。汚れを十分に落してからグリースを塗り、再度取り付けます。

ProPedal 調節 (DHX AIR 4.0 & 3.0のみ)



ProPedal 調節ノブにより、乗り手は ProPedal ダンピングの量を調節することが出来ます。ProPedal ダンピングは圧縮ストロークの出だしに影響を与え、ペダルによって発生するサスペンション・ポブを制御するように設計されています。サスペンションの設計が異なるため、必ずしもすべての自転車に同レベルのブースト・バルブによる ProPedal ダンピングが必要なわけではありません。

15 クリックの調節段階があります。ProPedal 設定を最も軽いものにするにはノブを完全に左回りに回し、逆に最も重い ProPedal ダンピングにするには完全に右回りに回します。

ブースト・バルブ*

ブースト・バルブによって、スクエアエッジの衝撃吸収から底を感じさせないストロークエンド感までの効率的な ProPedal の切れ目のない移行を可能にする位置検出ダンピングのスキームが作られます。ブースト・バルブは、ProPedal とボトムアウト調節を分断し、ProPedal プラットフォームの調節がボトムアウト調節から独立して行えるようにします。

ブースト・バルブは直接調節されません。その代わりに、その動きと走行機能の特性は、リザーブタンク内の空気圧設定と ProPedal ノブの調節によって決定されます。

お買上げの DHX ショックの圧縮ダンピング特性を変えるには、FOX 高圧ポンプ（145 ページの FOX 高圧ポンプを使用を参照）をリザーブタンク上のエアバルブ取り付けます。

固い感じの走行には、10-15 ポンドの空気圧を追加します。

柔らかい感じの走行には、ポンプのブリードバルブを使い、ショックの空気圧を 10-15 ポンド下げます。

手順を繰り返す前に、自転車に乗って設定の確認を行ないます。



リザーブタンク・エアチャンバの空気圧が 200PSI 以上または 75PSI 未満の状態の場合は、決して自転車に乗らないください。そのような走行によりショックに発生した損傷は、保証対象外の修理が必要となります。

ProPedal およびブースト・バルブの相互作用 *(DHX AIR 4.0 & 3.0のみ)

ブースト・バルブの様々な点が ProPedal 調節に影響します。ProPedal 調節ノブが完全に左回りに回っている（最も軽い ProPedal ダンピング・ポジション）にあるにも関わらず圧縮ダンピングがまだ強い場合には、リザーブタンク上のシュレーダーバルブにショックポンプを取り付け、圧力を 10-15psi 減圧します。そしてお好みの圧縮ダンピングになるまで繰り返します。ProPedal 調節ノブが完全に右回りに回していても十分な圧縮ダンピングを得られない場合には、お好みの圧縮ダンピングが得られるまでブースト・バルブに 10-15psi の圧力を加えます。

*DHX 装備のエンドューロ用特別仕様車には該当しません。

VANILLA

	Vanilla R	Vanilla
機能	<ul style="list-style-type: none"> > ProPedal (工場出荷時の設定) > リバウンド調節器 > コイルスプリング・プレロード 	<ul style="list-style-type: none"> > コイルスプリング・プレロード
調整	<ul style="list-style-type: none"> > リバウンド: ノブ (赤色) > プレロード: プレロードリング (黒色) 	<ul style="list-style-type: none"> > プレロード: > プレロードリング (黒色)



挿絵のシヨックの形が、お持ちの自転車のシヨックと異なる場合がありますが、用語および制御機能は同一のものです。

サグ設定

お買上げの VANILLA ショックの最高の走行機能をお楽しみいただくには、サグの設定が必要となります。サグを設定するには：

- 145 ページのサグ測定の説明に従いサグを測定し、下記のコイルスプリング設定表にあるサグ設定推奨値と比較します。
- それに基づき、プレロードリングを調節します。

サグ値が表の数値より低い場合は、プレロードノブを左回りに回します。常に、スプリングがしっかり固定され、勝手に動かないことを確認して下さい。



プレロードリングがスプリングと噛み合ったら、プレロードリングを右方向へ一回回します。適切なサグを得るために、このポジションからプレロードリングを左方向に回す必要があれば、よりレートの高いスプリングを使う必要があります。

サグ値が表の数値より高い場合は、プレロードリングがスプリングと噛み合った後、プレロードリングを右方向に最大二回まで完全に回します。

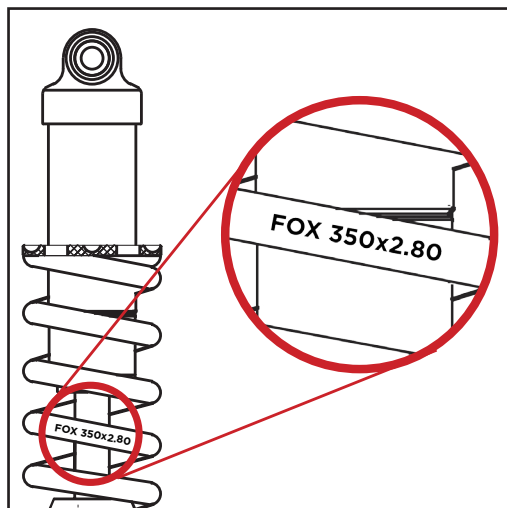


プレロードリングがスプリングと噛み合った後、適切なサグ値を得るために、スプリングを右方向に完全に二回以上回す必要があれば、よりレートの高いスプリングを使う必要があります。

- 必要な場合は、FOX Racing Shox または認定サービスセンターで、レートの高いまたは低いスプリングをお求めください。

コイルスプリングのチューニング

ショックのトラベル インチ/ミリ	推奨サグ値 インチ/ミリ
1.00/25.4	.25/6.4
1.25/31.7	.31/7.9
1.50/38.1	.38/9.5
1.75/44.4	.44/11.1
2.00/50.8	.50/12.7
2.25/57.1	.56/14.3
2.50/63.5	.63/15.9



スプリングプレートは、ショックスプリングに、直接印刷されています。上記スプリングは、トラベルが 2.80 インチで、スプリングレートが 350-lb/in のものです。

リバウンド調節 (VANILLA Rのみ)



リバウンドは、ショックが圧縮された後に戻るレートを制御します。適切なリバウンド設定は個人の好みの問題で、乗り手の体重、乗車スタイル、乗車状態によって異なります。大体の感じとして、リバウンドの設定は、反動で乗り手がサドルから落ちてしまわない範囲で、できる限り速くします。

リバウンドを遅くするには、赤い調節ノブを右方向に回します。

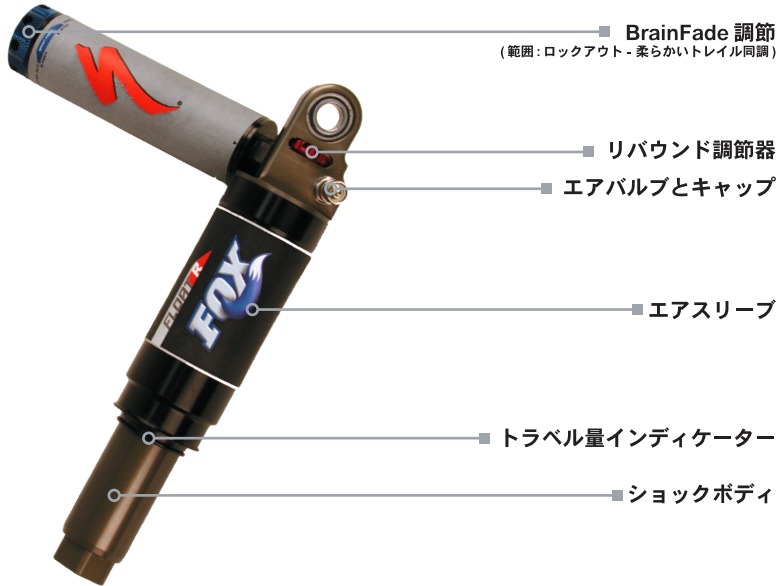
リバウンドを速くするには、赤い調節ノブを左方向に回します。

スプリング交換 (全 VANILLA モデル)

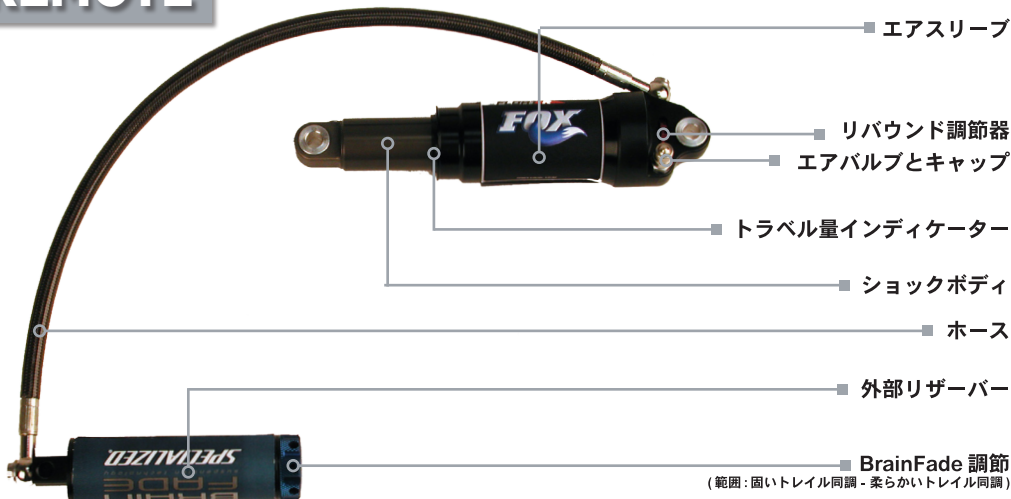
1. スプリングが楽に動くようになるまで、プレロードリングを緩めます。
2. スプリングを持ち上げ、スプリング・リテイナーを取り外します。
3. スプリングをショックのボディ上でスライドさせます。自転車のモデルによっては、リデューサーを取り外してからスプリングを取り外さなければならないものがあります。
4. 新しいスプリングを正しい方向に置き (154 ページの **スプリングオリエンテーション** を参照)、ショックボディ上へスライドさせます。
5. スプリング・リテイナーをスプリングの下のショック上の位置に戻します。
6. プレロードリングを、スプリングが動かなくなるまで丁度に締めます。
7. プレロードリングを完全にもう一度回します。

BRAIN

	BRAIN	BRAIN REMOTE
機能	> BrainFade 調節 > シューダーバルブ経由の調節可能エアスプリング > リバウンド調節器	> BrainFade 調節 > シューダーバルブ経由の調節可能エアスプリング > リバウンド調節器
調整	> リバウンド: 赤色ダイヤル > BrainFade: 青色ダイヤル	> リバウンド: ノブ (赤色) > BrainFade: 青色ダイヤル



BRAIN REMOTE



挿絵のショックが、お持ちの自転車のショックの形状と異なる場合がありますが、用語および制御機能は同じです。

サグ設定

BRAINテクノロジーがトレイル上のバンプを感じ取り、自転車のすべてのサスペンション機能を使って乗り手が困難なトレールでも効果的に走行できるよう、サスペンションを自動させます。

BRAIN/BRAIN REMOTE ショックの性能を最適化するためには、正確なセットアップが必要です。スプリング・レート（空気圧）ならびにリバウンド・ダンピング（ショックが戻るレート）をチューニングすることで、走行感覚を大幅に高めることが出来ます。

BRAIN および BRAIN REMOTE 機能搭載の自転車のサグの設定方法は、通常のショックの設定方法と若干異なります。

1. まず始めに、トラベル量インディケーター O-リングをスクラッパー・リップにスライドさせます。
2. 通常の乗車スタイルで自転車に乗ります。出来れば通常の走行時に着用する装備を用い、そのままのポジションで動かずに十 (10) 秒乗車します。これにより、ショックがそのトラベル量内に止まります。
3. 自転車を降りて、スクラッパー・リップとトラベル量インディケーター O-リングとの距離を測ります。
4. サグが推奨値の 10 mm になるまで、空気圧を 5psi 単位で調節していきます。

もう一つのサグの設定方法は、空気圧を BRAIN エア・スプリング設定表または BRAIN REMOTE エア・スプリング設定表に従って設定する方法です。

1. お持ちの特別仕様の自転車に BRAIN または BRAIN REMOTE ショックが装備されているかをチェックしてください。通常は、BRAIN REMOTE には STUMPJUMPER 120 が、BRAIN には EPIC が装備されています。
2. 乗り手の体重項目を参照し、乗り手の体重が該当する欄を見ます。
3. 空気圧の欄に指定されている空気圧に設定します。

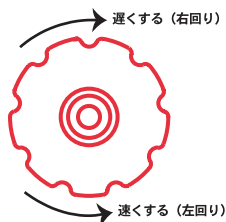
BRAIN エアスプリングの設定

体重 (Kg)	空気圧 PSI
90 - 100 (41 - 45)	70 - 75
100 - 110 (45 - 50)	75 - 80
110 - 120 (50 - 54)	80 - 85
120 - 130 (54 - 60)	85 - 90
130 - 140 (60 - 64)	90 - 95
140 - 150 (64 - 68)	95 - 100
150 - 160 (68 - 73)	100 - 110
160 - 170 (73 - 77)	110 - 120
170 - 180 (77 - 82)	120 - 130
180 - 190 (82 - 86)	130 - 140
190 - 200 (86 - 91)	140 - 150
200 - 210 (91 - 95)	150 - 160
210 - 220 (95 - 100)	160 - 170
220 - 230 (100 - 104)	170 - 180
230 - 240 (104 - 109)	180 - 190
240 - 250 (109 - 113)	190 - 200
250 - 265 (113 - 120)	200 - 210
265 - 280 (120 - 127)	210 - 220
280 - 295 (127 - 134)	220 - 230

BRAIN REMOTE エアスプリング設定

体重 (Kg)	空気圧 PSI
90 - 100 (41 - 45)	70 - 80
100 - 110 (45 - 50)	80 - 90
110 - 120 (50 - 54)	90 - 100
120 - 130 (54 - 60)	100 - 110
130 - 140 (60 - 64)	110 - 125
140 - 150 (64 - 68)	125 - 140
150 - 160 (68 - 73)	140 - 155
160 - 170 (73 - 77)	155 - 170
170 - 180 (77 - 82)	170 - 185
180 - 190 (82 - 86)	185 - 195
190 - 200 (86 - 91)	195 - 205
200 - 210 (91 - 95)	205 - 215
210 - 220 (95 - 100)	215 - 225
220 - 230 (100 - 104)	225 - 235
230 - 240 (104 - 109)	235 - 245
240 - 250 (109 - 113)	245 - 255
250 - 265 (113 - 120)	255 - 265
265 - 280 (120 - 127)	265 - 275
280 - 295 (127 - 134)	275 - 285

リバウンド調節



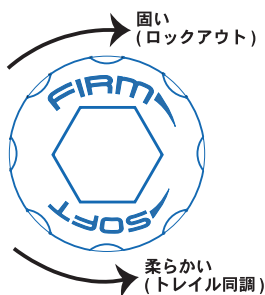
リバウンドは、ショックが圧縮された後に戻るレートを制御します。適切なリバウンド設定は個人の好みの問題で、乗り手の体重、乗車スタイル、乗車状態によって異なります。大体の感じとして、リバウンドの設定は、反動で乗り手がサドルから落ちてしまわない範囲で、できる限り速くします。

リバウンドノブは、エアバルブ近くに位置するショックボディ内の赤色ダイヤルで、8から10段階のクリック調整が可能です。

リバウンドを遅くするには、赤い調節ノブを右方向に回します。

リバウンドを速くするには、赤い調節ノブを左方向に回します。

BRAINFADE の調節 (BRAINのみ)



BRAIN ショックは、FOX BrainFade サスペンションテクノロジーを採用しています。

BrainFade は、サスペンションが完全にロックアウトされた状態から柔らかいトレイル同調まで、ダイヤル調節により走行状態にふさわしいショックの設定を可能にし、ハードペダリングの走行時において、バンプを吸収しながら且つサスペンションのポブを最少に保つ安定感のある柔軟なプラットフォームを提供します。

乗り心地を固くする場合は、青色ダイヤルを右方向に回します。

乗り心地を柔らかくする場合は、青色ダイヤルを左方向に回します。

どのBrainFade ポジションが最適かを判断するには、自転車を時速24Kmで走行し、ショックの動きをモニタリングします。ダイヤルを回し、好ましいバンプ吸収が得られると同時に、最も効果的にサスペンションの動きが軽減されるポジションを選択します。なお設定は、走行条件、走行環境で変化することがあります。

BRAINFADE 調節 (BRAIN REMOTEのみ)



BRAIN REMOTE ショックは、FOX BrainFade サスペンションテクノロジーを採用しています。

BrainFade は、サスペンションが完全にロックアウトされた状態から柔らかいトレイル同調まで、ダイヤル調節により走行状態にふさわしいショックの設定を可能にし、ハードペダリングの走行時において、バンプを吸収しながら且つサスペンションのポブを最少に保つ安定感のある柔軟なプラットフォームを提供します。

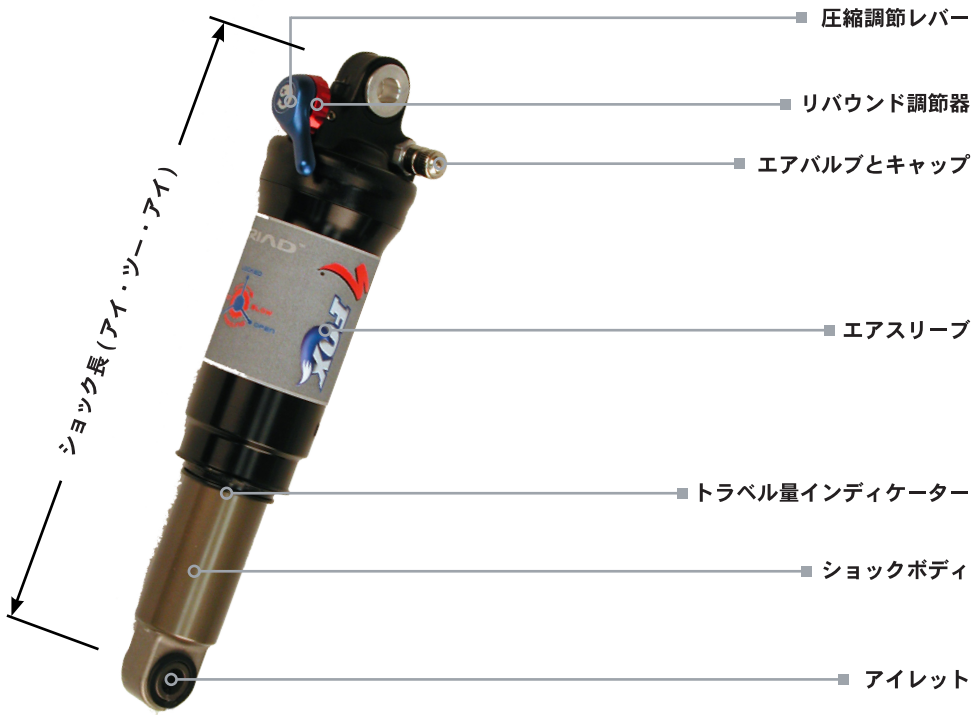
乗り心地を固くする場合は、青色ダイヤルを右方向に回します。

乗り心地を柔らかくする場合は、青色ダイヤルを左方向に回します。

どのBrainFade ポジションが最適かを判断するには、自転車を時速24Kmで走行し、ショックの動きをモニタリングします。ダイヤルを回し、好ましいバンプ吸収が得られると同時に、最も効果的にサスペンションの動きが軽減されるポジションを選択します。なお設定は、走行条件、走行環境で変化することがあります。

TRIAD

TRIAD	
機能	>3種類の圧縮調節レバー >シュレーダーバルブ経由の調節可能エアスプリング >リバウンド調節器
調整	>3種類の圧縮調節：青色レバー >リバウンド：赤色ダイヤル



挿絵のショックが、お持ちの自転車のショックの形状と異なる場合もありますが、用語および制御機能は同じです。

サグ設定

TRIAD ショックの性能を最大限に引出すには、サグを調節する必要があります。初めてのサグの測定の場合は、XX ページのサグの測定を参照してください。

サグを設定するには：

1. ショック 上のシュレーダー・エアバルブを見つけ、バルブキャップを取り外します。
2. FOX Racing Shox ポンプを、ゲージに圧力が表示されるまで、エアバルブに回しながら取り付けます。絶対に締めすぎないでください。
3. お好みの空気圧がゲージに表示されるまで空気圧を加えます。該当する下記のエアスプリング設定表を参照し、お持ちの特別仕様 FSR XC または Stumpjumper 120 に当てはまるサグの設定法を調べます。
4. ポンプをエアバルブから外し、サグを測定します。
5. 適切なサグ値になるまで 2 から 4 の作業を繰り返し、その後、バルブキャップを交換します。

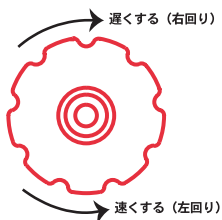
FSR XC - エアスプリング設定

体重 (Kg)	メインチェンバ 空気圧 PSI
90 - 100 (41 - 45)	95 - 100
100 - 110 (45 - 50)	100 - 110
110 - 120 (50 - 54)	110 - 120
120 - 130 (54 - 60)	120 - 125
130 - 140 (60 - 64)	125 - 130
140 - 150 (64 - 68)	130 - 135
150 - 160 (68 - 73)	135 - 140
160 - 170 (73 - 77)	140 - 150
170 - 180 (77 - 82)	150 - 160
180 - 190 (82 - 86)	160 - 170
190 - 200 (86 - 91)	170 - 180
200 - 210 (91 - 95)	180 - 190
210 - 220 (95 - 100)	190 - 200
220 - 230 (100 - 104)	200 - 210
230 - 240 (104 - 109)	210 - 220
240 - 250 (109 - 113)	220 - 230
250 - 265 (113 - 120)	230 - 240
265 - 280 (120 - 127)	240 - 250
280 - 295 (127 - 134)	250 - 260

STUMPJUMPER 120 - エアスプリング設定

体重 (Kg)	メインチェンバ 空気圧 PSI
90 - 100 (41 - 45)	70 - 80
100 - 110 (45 - 50)	80 - 90
110 - 120 (50 - 54)	90 - 100
120 - 130 (54 - 60)	100 - 110
130 - 140 (60 - 64)	110 - 125
140 - 150 (64 - 68)	125 - 140
150 - 160 (68 - 73)	140 - 155
160 - 170 (73 - 77)	155 - 170
170 - 180 (77 - 82)	170 - 185
180 - 190 (82 - 86)	185 - 195
190 - 200 (86 - 91)	195 - 205
200 - 210 (91 - 95)	205 - 215
210 - 220 (95 - 100)	215 - 225
220 - 230 (100 - 104)	225 - 235
230 - 240 (104 - 109)	235 - 245
240 - 250 (109 - 113)	245 - 255
250 - 265 (113 - 120)	255 - 265
265 - 280 (120 - 127)	265 - 275
280 - 295 (127 - 134)	275 - 285

リバウンド調節



リバウンドは、ショックが圧縮された後に戻るレートを制御します。適切なリバウンド設定は個人の好みの問題で、乗り手の体重、乗車スタイル、乗車状態によって異なります。大体の感じとして、リバウンドの設定は、反動で乗り手がサドルから落ちてしまわない範囲で、できる限り速くします。

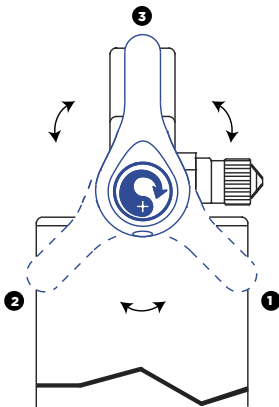
リバウンドノブは、青色の圧縮調節レバーの後ろにある赤いノブで、8 から 10 段階のクリック調整が可能です。

リバウンドを遅くするには、赤い調節ノブを右方向に回します。

リバウンドを速くするには、赤い調節ノブを左方向に回します。

圧縮調節

FOX Racing Shox TRIAD ショックを搭載した特別仕様の自転車をご用意しています。TRIAD には、走行時調節可能な 3 種類のサスペンション設定があります：



1. オープン (下り)
2. ProPedal (バンプに対応し、且つ効率良いペダリングのため)
3. ロック (上りおよび路上走行)

異なる走行条件、走行環境に応じ、各設定によってショックをチューニングします。例えば、山頂を目指す際には ProPedal またはロックポジションに設定し、逆に下るときにはオープンポジションに切り替えます。サスペンションのデザインと乗り手の経験により、最適な設定は、自転車および乗り手ごとに異なります。

どの圧縮調節ポジションが最適化かを判断するには、自転車を時速 24Km で走行し、ショックの動きをモニタリングします。ポジションを変更してみて、好ましいポップ吸収が得られると共に、最も効果的にサスペンションの動きを軽減するポジションを選択します。なお設定は、走行条件、走行環境で変化することがあります。

チューニング時の注意事項：

